

お客さま本位の業務運営の取組状況 (フィデューシャリー・デューティー)

・玉島信用金庫は、資産運用関連業務におけるお客さま本位の業務運営を実践するために、2017年9月に「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する取組方針について」を公表しました。

この取組方針のもと、当金庫はお客さまの安定的な資産形成および資産運用のお手伝いをしていくとともに、お客さまのニーズに合わせた質の高い金融サービスを提供し、信頼に応えられるよう努めてまいります。

このたび、2019年度の取組状況を、以下のとおり掲載いたします。



2019年度に当金庫が新たに導入したファンド

	投資対象による分類	ファンド名	愛称
バランス運用	国内	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	円奏会
		東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	円奏会（年1回決算型）
	国内 海外	しんきん3資産ファンド（1年決算型）	
		しんきんグローバル6資産ファンド（1年決算型）	
主に株式で運用	国内	女性活躍応援ファンド	椿
		損保ジャパン・グリーン・オープン	ぶなの森
		三井住友・げんきシニアライフ・オープン	
	国内 海外	グローバルロボティクス株式ファンド（1年決算型）	
		ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）	
		グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	未来の世界
		グローバルAIファンド	
	海外	AI（人工知能）活用型世界株ファンド	ディープAI

・2019年度ファンドは、「人生100年時代」を迎え、長期運用を視野に入れた1年決算型のファンドを中心に、新たに12ファンドの取り扱いを開始しました。

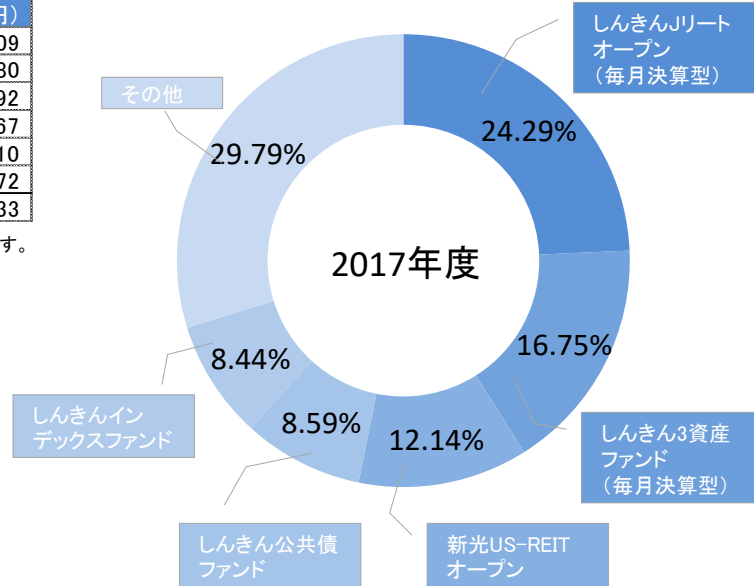
このなかには、社会的課題でもある「女性活躍」、「環境」、「シニアサポート」に関連したファンドも含まれています。

投資信託販売実績の推移

2017年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	179,809
2	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	123,980
3	新光 US-REITオープン	89,892
4	しんきん公共債ファンド	63,567
5	しんきんインデックスファンド225	62,510
6位以下	その他(23銘柄)	220,572
	合計	740,333

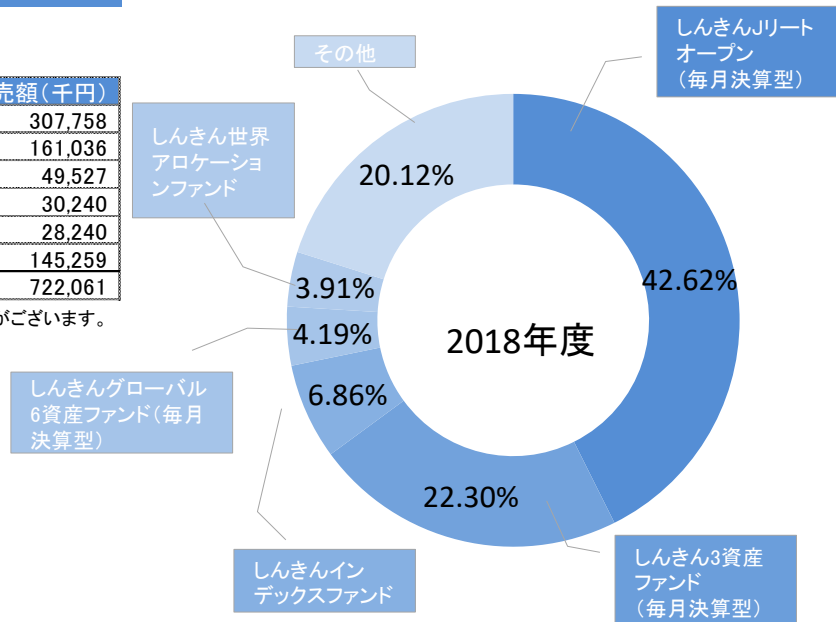
金額等は単位未満を切り捨てて掲載しており、合計額と合致しない場合がございます。



2018年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	307,758
2	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	161,036
3	しんきんインデックスファンド225	49,527
4	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	30,240
5	しんきん世界アロケーションファンド	28,240
6位以下	その他(23銘柄)	145,259
	合計	722,061

金額等は単位未満を切り捨てて掲載しており、合計額と合致しない場合がございます。

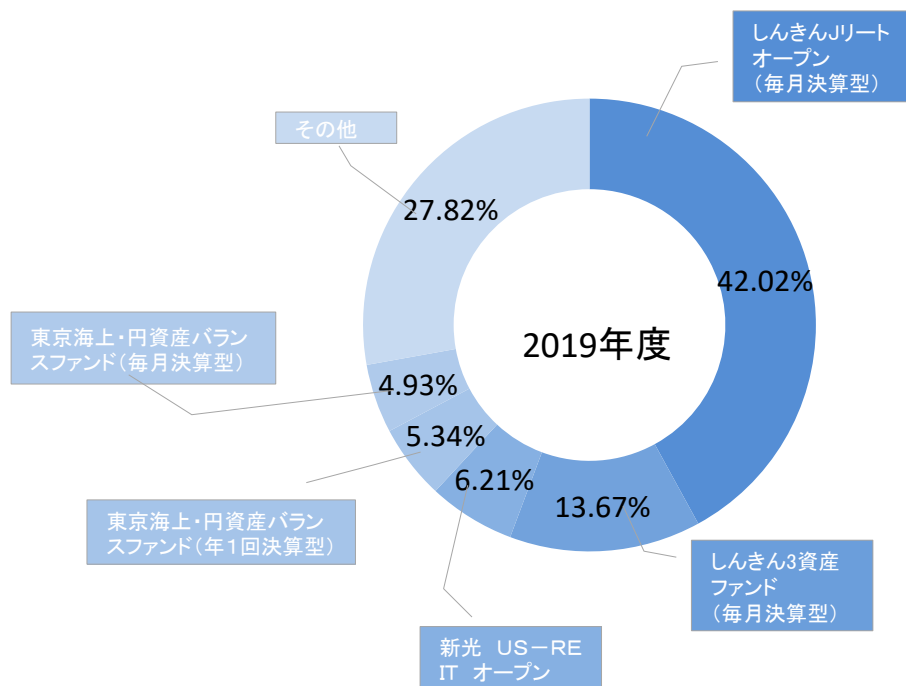


※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

投資信託販売実績の推移

2019年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	386,051
2	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	125,622
3	新光 US-REIT オープン	57,012
4	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	49,069
5	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	45,322
6位以下	その他(35銘柄)	255,616
	合計	918,695

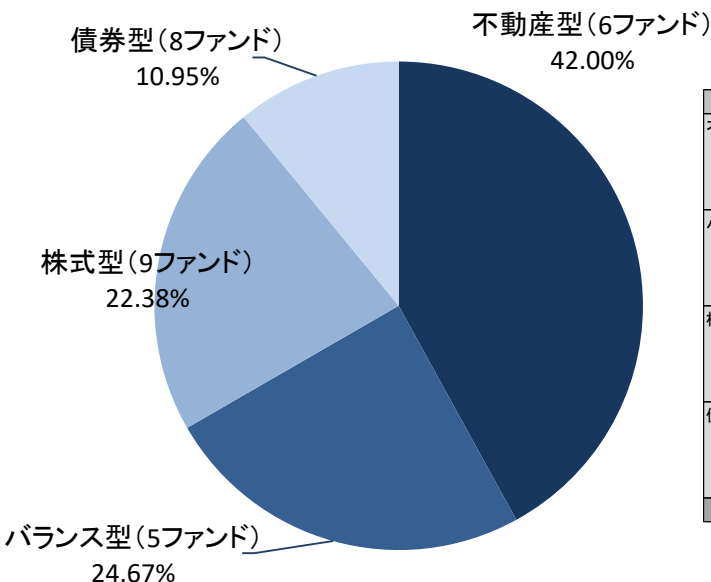


- ・2019年度は、2017年度および2018年度に続き「しんきんJリートオープン(毎月決算型)」「しんきん3資産ファンド(毎月決算型)」が販売実績の上位を占めました。
- ・また、2019年11月より取扱いを開始した東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)および同ファンド(毎月決算型)も約4ヶ月の販売実績でありながら人気のファンドとなりました。
- ・引き続き、お客さまの資産やお取引の経験、リスク許容度等に応じ、様々な情報提供をおこない、お客さまの要望に沿った資産形成および資産運用を提案してまいります。

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

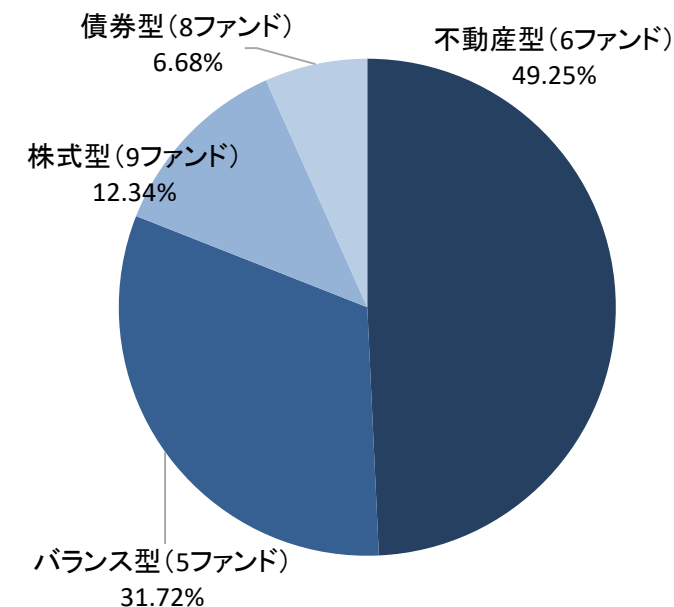
投資対象別販売実績の推移

2017年度販売実績



区分	ファンド数	金額(千円)	割合
不動産型	6	310,932	42.00%
うち、国内	2	183,620	24.80%
うち、国外	2	90,722	12.25%
うち、国内外	2	36,589	4.94%
バランス型	5	182,648	24.67%
うち、国内	0	0	0.00%
うち、国外	0	0	0.00%
うち、国内外	5	182,648	24.67%
株式型	9	165,689	22.38%
うち、国内	3	72,500	9.79%
うち、国外	5	50,240	6.79%
うち、国内外	1	42,948	5.80%
債券型	8	81,062	10.95%
うち、国内	3	67,777	9.16%
うち、国外	3	7,925	1.07%
うち、国内外	2	5,360	0.72%
合計	28	740,333	100.00%

2018年度販売実績

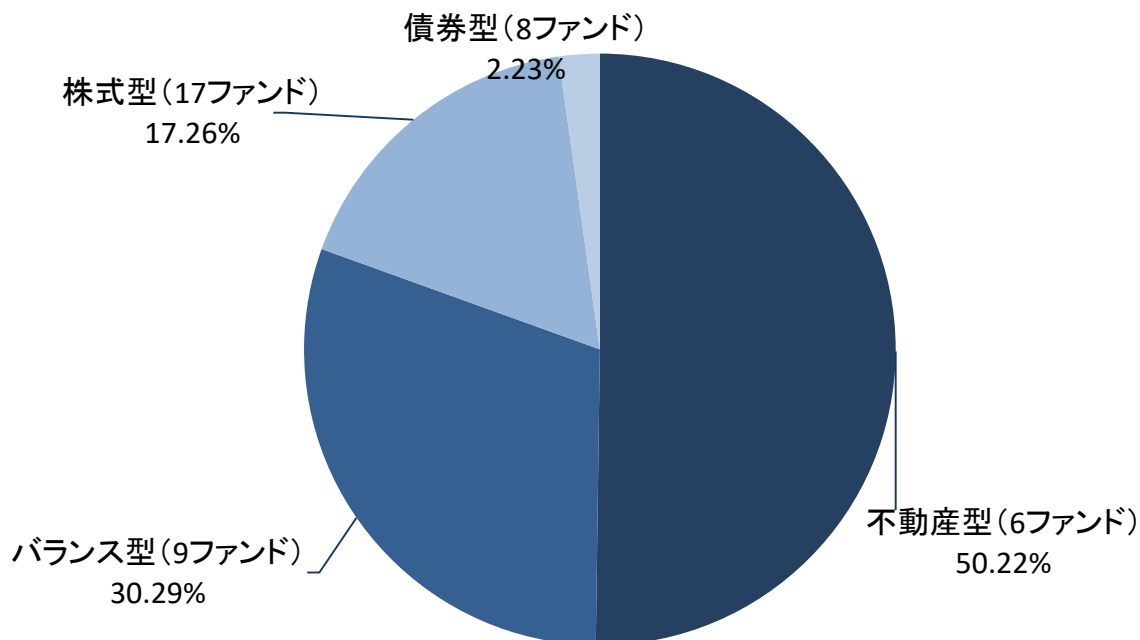


区分	ファンド数	金額(千円)	割合
不動産型	6	355,621	49.25%
うち、国内	2	325,384	45.06%
うち、国外	2	21,766	3.01%
うち、国内外	2	8,470	1.17%
バランス型	5	229,069	31.72%
うち、国内	0	0	0.00%
うち、国外	0	0	0.00%
うち、国内外	5	229,069	31.72%
株式型	9	89,110	12.34%
うち、国内	3	61,472	8.51%
うち、国外	5	23,914	3.31%
うち、国内外	1	3,724	0.52%
債券型	8	48,260	6.68%
うち、国内	3	25,880	3.58%
うち、国外	3	21,300	2.95%
うち、国内外	2	1,080	0.15%
合計	28	722,061	100.00%

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

投資対象別販売実績の推移

2019年度販売実績



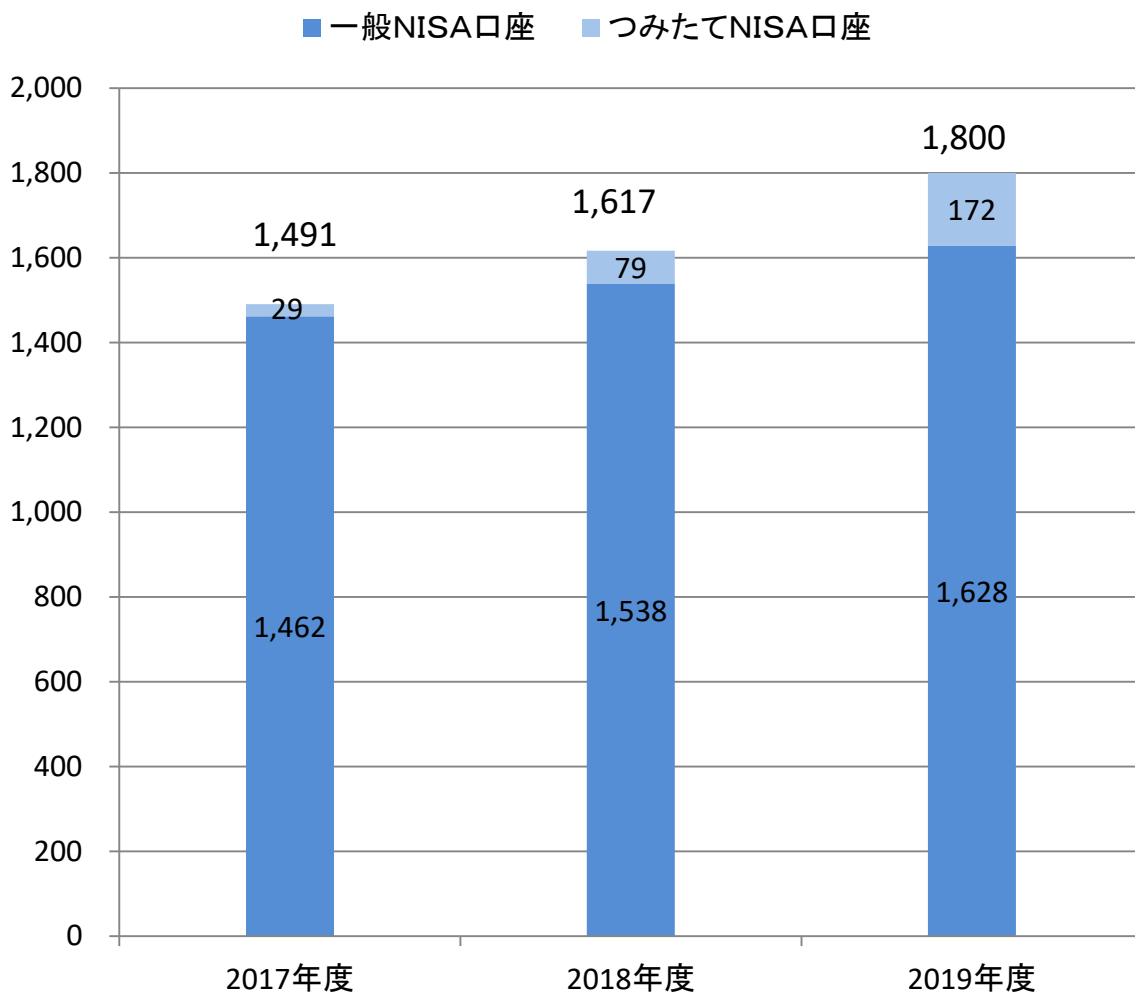
区分	ファンド数	金額(千円)	割合
不動産型	6	461,340	50.22%
うち、国内	2	398,507	43.38%
うち、国外	2	61,032	6.64%
うち、国内外	2	1,800	0.20%
バランス型	9	278,289	30.29%
うち、国内	2	94,392	10.27%
うち、国外	0	0	0.00%
うち、国内外	7	183,896	20.02%
株式型	17	158,555	17.26%
うち、国内	6	63,751	6.94%
うち、国外	6	55,398	6.03%
うち、国内外	5	39,406	4.29%
債券型	8	20,510	2.23%
うち、国内	3	18,010	1.96%
うち、国外	3	2,090	0.23%
うち、国内外	2	410	0.04%
合計	40	918,695	100.00%

- ・当金庫では、お客さまの大切な資産を安定的に運用するお手伝いのため、リスクの分散をお勧めしています。上記のグラフは、4つの投資対象（債券運用、株式運用、不動産運用、バランス運用）の分散度合いを示しており、お客さまの投資状況を表しています。
- ・引続き、お客さまの資産やお取引の経験、リスク許容度等に応じ、様々な情報提供をおこない、お客さまの要望に沿った資産形成および資産運用を提案してまいります。

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

NISA口座数の推移

	2017年度	2018年度	2019年度
一般NISA口座	1,462	1,538	1,628
つみたてNISA口座	29	79	172
	1,491	1,617	1,800



・「人生100年時代」が到来し、将来の資産形成を希望するお客さまへNISA制度のご案内・ご提案に努めた結果、NISA口座およびつみたてNISA口座ともに増加しました。

共通KPI

・金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI(以下、共通KPI)」に基づき、2020年3月末で算出した数値を公表いたします。

「投資信託運用損益別顧客比率」

「投資信託預かり残高上位20銘柄」

「投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン」

「投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン」

投資信託運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

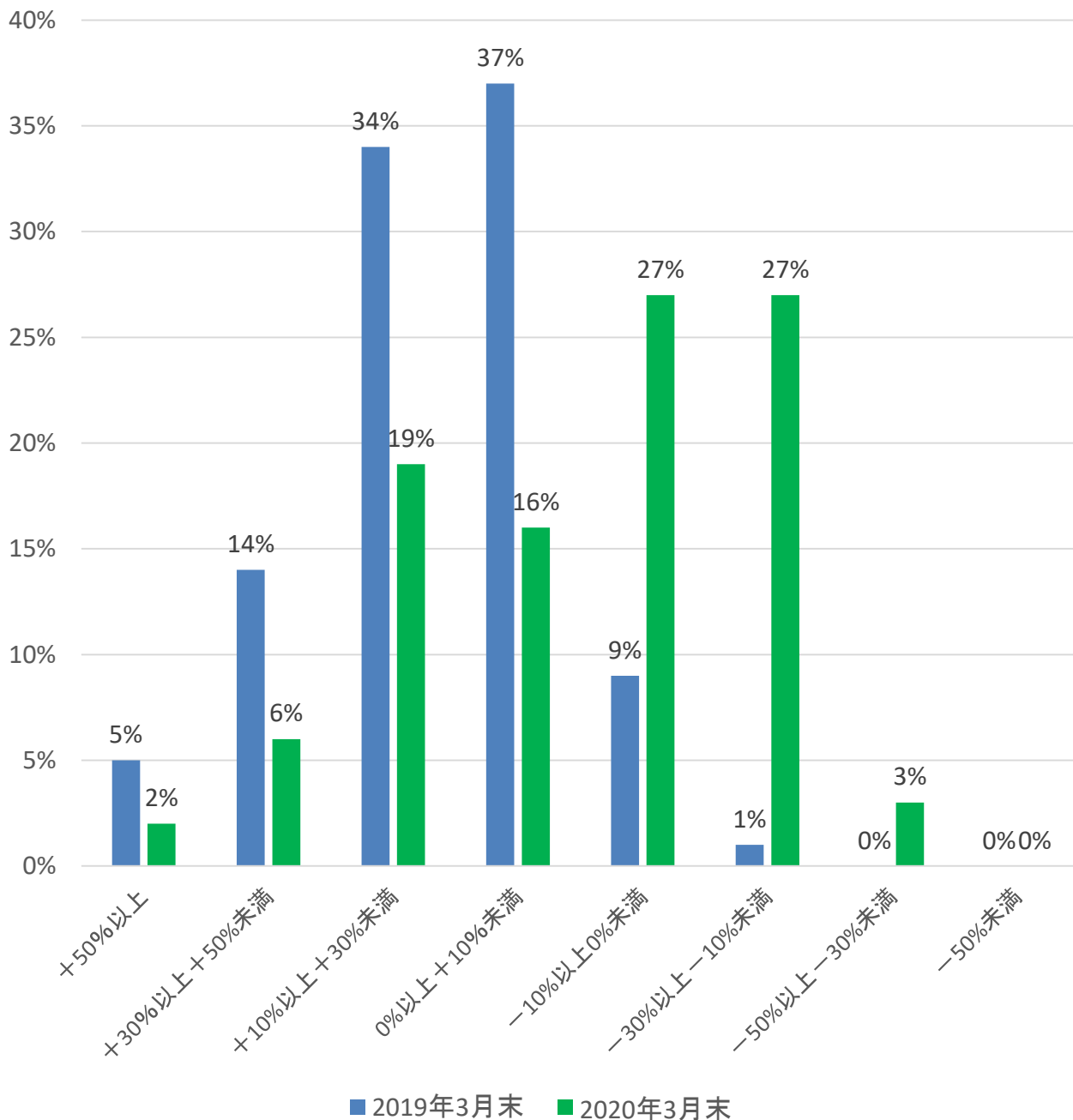
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- ・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- ・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

投資信託運用損益別顧客比率



・2019年3月末の運用損益がプラス(0%以上)のお客さまは全体の90%となっていました
 が、2020年3月末については、運用損益がマイナス(0%未満)のお客さまが全体の57%
 を占めました。運用損益がマイナスとなったお客さまの増加要因として、新型コロナウイルスの
 世界的な感染拡大による景気後退の影響により、世界中のマーケットが大幅に下落したこと
 が要因と考えられます。

投資信託預かり残高上位20銘柄の詳細

投資信託預かり残高上位20銘柄の詳細

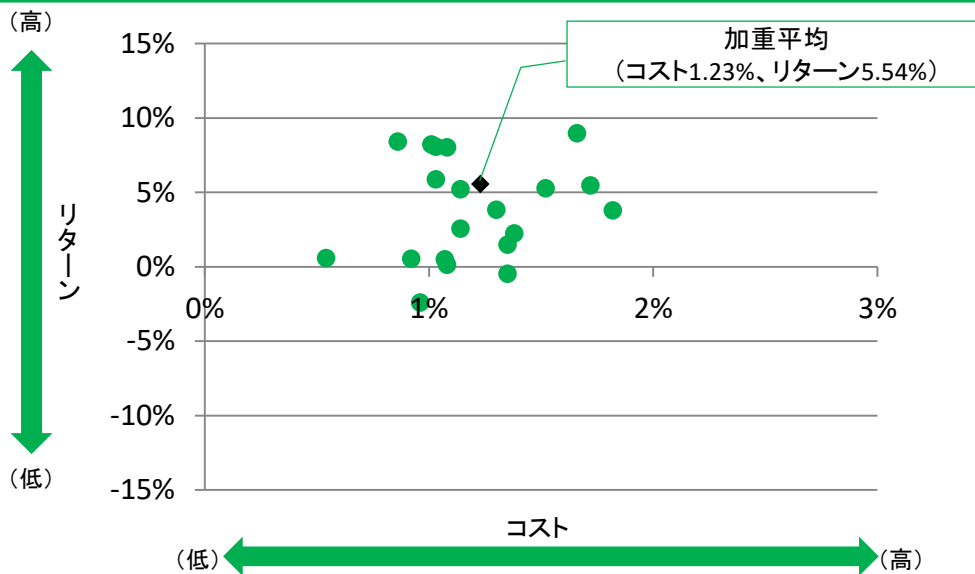
2020年3月末時点

銘柄名	コスト	リスク	リターン
① しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	13.16%	-0.25%
② しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	8.71%	0.16%
③ 新光US-REITオープン	2.23%	16.59%	-2.24%
④ 三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	17.85%	-7.21%
⑤ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	5.19%	-0.56%
⑥ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.00%	-1.28%
⑦ しんきん公共債ファンド	0.66%	1.03%	0.05%
⑧ しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.06%	0.87%
⑨ しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	2.77%	-0.33%
⑩ DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	7.44%	-3.03%
⑪ しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	16.35%	-0.67%
⑫ DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)	1.76%	12.56%	-3.00%
⑬ 東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.25%	3.44%	0.62%
⑭ 世界のサイフ	1.41%	8.63%	-4.93%
⑮ しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	19.45%	-4.84%
⑯ 東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.44%	0.62%
⑰ しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	13.11%	-0.03%
⑱ ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	1.84%	7.28%	-1.75%
⑲ コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	1.42%	3.73%	0.09%
⑳ ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	1.82%	9.11%	-4.15%

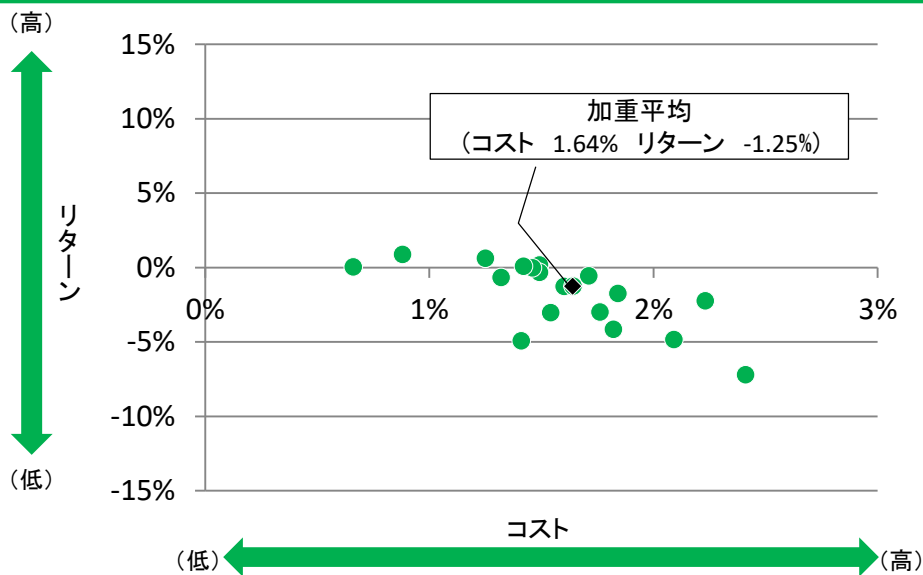
残高加重平均値	コスト	リスク	リターン
	1.64%	11.29%	-1.25%

共通KPI

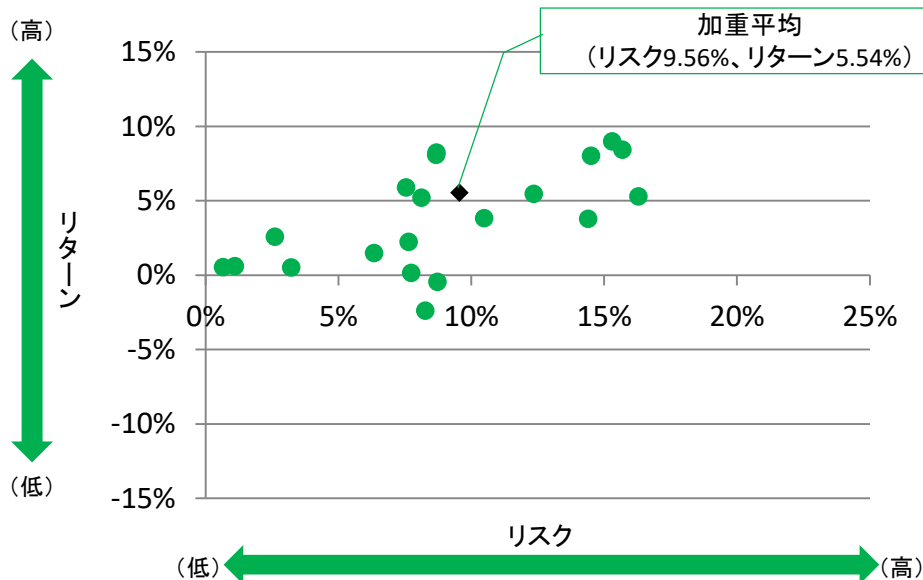
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2019年3月末時点）



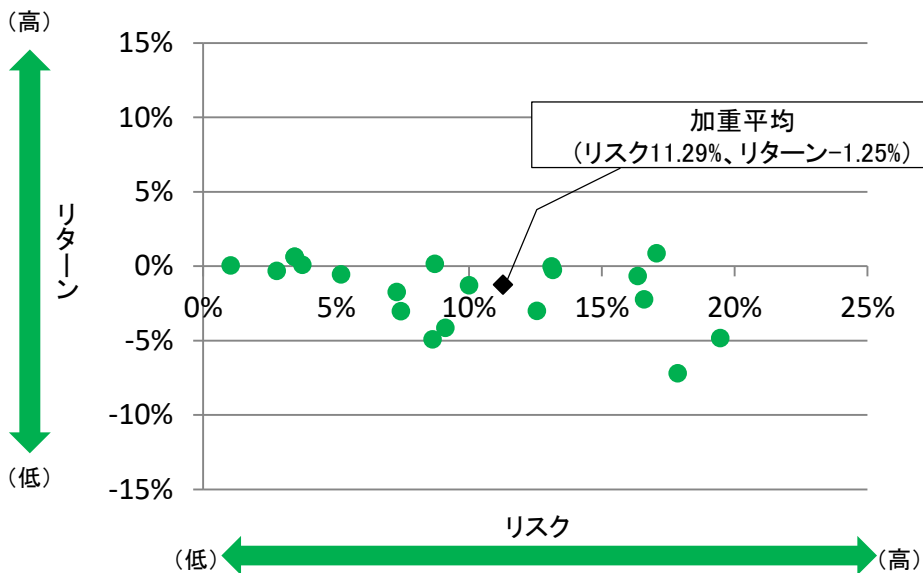
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2020年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2019年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2020年3月末時点）



・投資信託預かり残高上位20銘柄のうち、設定後5年以上の投資信託について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。2020年3月時点の平均コスト1.64% 平均リスク11.29%に対し、平均リターンは-1.25%となりました。

・上記数値等は、あくまで過去の実績であり、将来の運用益をお約束するものではありません。

資産セミナーの開催

- ・2019年度の資産運用セミナーについては、全体やブロック別で開催するのではなく、取引先等を中心に個別で開催しました。(回数:5回、参加者:115名)

ファイナンシャル・プランニング技能士取得者数の推移

(単位:名)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
FP1級	5	5	3	3
FP2級	111	117	123	123
FP3級	1	1	1	4
合計	117	123	127	130

証券外務員二種取得者数の推移

(単位:名)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
証券外務員	301	317	311	298

- ・当金庫は、お客さまの多様なニーズにお応えするため、公的資格取得・職員向け研修・勉強会を通じて、専門的な知識を習得し能力向上に努め、お客さまの資産形成および資産運用のサポートを実践し、信頼に応える職員の育成に努めてまいります。